

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
3		
○必修 学校必修 必修選択 自由選択	小林 優子 木村美保子	高等学校 言語文化 (第一学習社)

## ◆学習の目標

- ・言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育てる。
- ・言語文化に対する理解を深めさせる。
- ・論理的に考える力や、伝え合う力、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力を育てる。
- ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## ◆主な学習内容・方法

- (1) 語句の意味・用法及び文の構造を理解すること。
- (2) 文章の構成や展開に即して主題や要旨を捉えること。
- (3) 基本的な助動詞・助詞の用法・意味、敬語法を理解し、古典の文章読解に役立てる。
- (4) 基本的な句法を理解し、漢文の訓読・解釈に役立てる。
- (5) 文章の構成を意識して読み進め、作品によっては意見交換や発表をする。

## ◆到達目標と観点別評価の評価規準

- 〔標準〕
- ・古典及び詩歌を理解するに当たっての基本的な語彙を身に付けている。
  - ・助詞・助動詞の意味用法、敬語法、句法などの基本的な文法事項を説明できる。
  - ・文章の意味を文脈の中で形成されることを理解して判断し、正しく理解できる。
  - ・文章の構成を捉え、文章の主題や登場人物の心情を正しく読み取ることができる。
  - ・自らすすんで学習課題に向き合い、読み取ったり話し合ったりしている。
- 〔応用〕
- ・標準的事項を踏まえ、大意をつかむための読解力を身に付け、表現できる。

## 〔観点別評価の評価規準〕

## ○知識・技能

国語の知識や技能を身に付けているとともに、言語文化に対する理解を深めている。

## ○思考・判断・表現

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

## ○主体的に学習に取り組む態度

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。

## ◆年間予定授業時間

予定時数	105時間	1学期 (40時間)	2学期 (42時間)	3学期 (23時間)
------	-------	------------	------------	------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

古文・・・本文を写し、語句の意味を調べ、脚注の語句の意味を利用し、口語（現代語）訳する。 口語訳のために重要な文法事項を反復学習して暗記する。
漢文・・・本文を写し、書き下し文を作る。重要な句形や語を反復学習して暗記する。 作品が成立した時代を確認し、その時代背景を調べ、読解に役立てる。
詩歌・・・本文を写し、語句の意味を調べ、初読の感想を記録する。 いずれも繰り返し音読する。これが言語学習の基本となる。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	古文入門・用言 説話 『宇治拾遺物語』	6 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文の表現に慣れ親しむ。</li> <li>用言の基本について学ぶ。</li> <li>話の展開の面白さを楽しむ。</li> <li>漢文の特色を知り、訓読の基礎を学ぶ。</li> <li>繰り返し音読し、漢文独特のリズムに慣れる</li> <li>内容の面白さを楽しむ。</li> <li>物語文学の表現について、理解と関心を深める。</li> <li>中古の一般常識を理解する。</li> <li>用言に注目し、整理する。</li> <li>日記文学に関心を持ち、当時の人々のものの見方や感じ方を味わう。</li> </ul>	以下の項目を理解し、文章の内容を解釈し、人に伝えられること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>古語辞典の使い方</li> <li>歴史的仮名遣い</li> <li>用言の活用</li> <li>活用形の見分け方</li> <li>活用の種類の見分け方</li> <li>物語文学の特徴</li> <li>日記文学の特徴</li> <li>漢文の構造・訓点のしくみ</li> <li>書き下し文の作り方</li> <li>再読文字の基本</li> <li>否定形・疑問・反語形</li> </ul>
	5	漢文入門・訓読法 故事成語『漁夫の利』 歌物語 『伊勢物語』①	6 3 8		
	6	随筆 『徒然草』① 日記 『土佐日記』①	5 5		
	7	故事成語『狐借虎威』 ほか	3		
2 学期	8	用言の復習 助動詞の基本 歌物語	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>文法の既習内容を復習する。</li> <li>助動詞の仕組みを学ぶ。</li> <li>助動詞の理解を完成する。</li> <li>助詞に注目し、整理する。</li> <li>唐詩の表現について理解を深める。</li> <li>用字・句法を整理する。</li> <li>軍記物語を味わう。</li> <li>歴史と結び付いた史伝の世界を読み味わう。</li> <li>敬語の種類・敬意の方向の見分け方について学ぶ。</li> <li>詩独特の表現方法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取る。</li> </ul>	以下の項目を理解し、文章の内容を解釈し、人に伝えられること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>用言の説明の仕方</li> <li>助動詞の接続・意味・活用</li> <li>「なり」の識別法</li> <li>助詞の種類・意味・用法</li> <li>武士の世界の風俗</li> <li>史伝の特徴</li> <li>敬語の種類 敬意の方向</li> <li>唐詩の種類</li> <li>押韻・対句の理解・定着</li> <li>部分否定</li> <li>使役形</li> <li>限定形</li> <li>詠嘆形</li> </ul>
	9	『伊勢物語』② 日記 『土佐日記』②	3 3		
	10	随筆 『徒然草』② 『枕草子』①	5		
	11	漢詩 『唐代の詩文』 史文『完璧』 ほか	6 5		
	12	軍記『平家物語』 敬語の基本 近代の詩歌ほか	8 7		
3 学期	1	既習事項の復習 和歌 随筆『枕草子』②	3 5 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌の特徴を理解する。</li> <li>作者の生き方や感じ方を味わう。</li> <li>古代の中国の人々の生き方や考え方を知る。</li> <li>作品に表れている情景や心情を鑑賞する。</li> <li>ものの見方、感じ方を捉え内容を解釈する。</li> <li>表現の技法とその効果について理解し、創作する。</li> </ul>	以下の項目を理解し、文章の内容を解釈し、人に伝えられること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>和歌の形態・修辞法</li> <li>敬語の種類の定着</li> <li>助動詞の完成</li> <li>諸子百家</li> <li>現代に通じる思想の理解</li> <li>近代詩歌の特徴</li> <li>表現の技法とその効果</li> </ul>
	2	思想『論語』 近代の詩歌ほか	5 7		
	3				